



**香美地域森林・林業再生プラン実践事業
及び
先進林業機械導入・改良事業の取組について**

**香美森林組合
物部森林組合**

はじめに

- 事業の成果
- 取組み
- 目指す姿(目標)
- 今後の課題
- 今後の取組み



事業の成果

1. 所有者の集約化に対する理解の向上
2. 経営への目標設定と戦略の明確化
3. 森づくり・道づくりへの新たな取組み
4. 集材エリアの拡大と省力化
5. 人材の育成
6. 労働安全が一番



1 所有者の理解の向上

○取組み

- 地区説明会(森の工場)
岩改地区 1回
- 座談会(再生プラン)
香美森林組合 16カ所
物部森林組合 3カ所
19カ所
- PR(広報)
香美市広報1回 ・ 高知新聞3回
高知放送2

○具体的な成果

- 所有者の意識高揚
- 集約化(実績)本年度
3地区
1,050名 2,300ha
- 集約化(依頼)
新改他3地区、750ha
の申し込み

地区座談会

- 間伐推進の為に作業道が必要また、維持管理も大切。
- 境界が不明確では間伐も進まない地籍調査等を急いでほしい。
- 獣害対策をしっかりとしてほしい。
- 不在村所有者対策等林業施策の充実。
- 木材の利用が本当に拡大するか。
- 各種の補助金制度が複雑である。
- 他多数の意見を戴きました。



2 目標設定と戦略の明確化

○取り組み

- 中期経営計画の策定
経営コンサルタントの指導のもと、両組合が5年間の計画を策定
- 経営に関する研修
コンサルタント(坪野氏)による講演。
県森連主催。経営に関する研修参加(6日間)
- 先進事業体による講演

○具体的な成果

- 職員の目標や戦略の明確化と共有化ができた。
目標実現に向けて各課週1回、全体月1回の打合せ(アクションレビューシート)
- 事業進捗管理手法の導入
PCDA方式

中期経営計画

目標(H27)香美

5年後のあるべきかを描き
目標設定。

集約化	10,000ha
生産量	31,000m ³

実行

目標に向け行うべき事を決め
実行時期を明確にし、レビュー
シートにより進捗管理を行う。
毎年末に計画を評価・見直し
5年計画(スライド)

目標(H27)物部

5年後のあるべきかを描き
目標設定。

集約化	5,000ha
生産量	18,000m ³
市場取扱量	40,000m ³
新月伐採量	3,000m ³
ペレット生産量	5,000t



3 森づくり・道づくり

○取り組み

・将来の木施業

モデル林

香美市有林 11ha

ワークショップ(フォレスター)

勉強会、選木

・基幹的となる作業道

タワーヤードシステムに
合わせた路網線形と開設

13, 296m

屋根型路面の作業道試行

2, 680m

(内改良2, 236m)

○具体的な成果

常識を一度疑い、考えて見ること

➤ 森づくり

地域で目標とする森林を共有する大切さ、現場の状況から、きめ細かな施業を実施すること。

現場での議論が大切である。

➤ 道づくり

路網計画や施工への論理的な理論、作業システムと路網整備を一体的にした道づくり。山の上方に開設し上げに集材とする。

将来の木

作業前



作業後



作業道

従来型



屋根型



4 集材エリアの拡大と省力化

○取組み

香美森林組合

タワーヤーダシステムの導入

ウインチシステムの導入

